

(7) 中学校保健体育部会

会 長 前田 美由紀 (中村中)
副会長 野村 綾彦 (中村中)
事務局 大久保 忠仁 (中村中)

1. 研究主題 「児童・生徒の発達段階に応じた、主体的・対話的で深い学びの保健体育の授業」 ～誰もが楽しめる生涯スポーツの視点から～

2. 研究経過

実施年月日	研究のあらまし	会場	備考
令和7年 5月7日(水)	四万十市教育研究会 組織総会 内容：役員選出、研究主題設定、年間計画	中村中学校	7名参加
令和7年 6月20日(金)	幡多地区中学校体育連盟研修部会 内容：実技研修会、 男女共習のメリット・デメリットの整理 持参物：学習指導要領解説(保健体育) バインダー 室内シューズ 指導と評価の一体化のための学習評価に 関する参考資料(保健体育) 報告者 大久保忠仁(中村中)	大方中学校	5名参加

3. 今年度の取組

実技研修会ではバスケットボールでは人数に応じた授業でのルールづくりについて中体連研究部から提案授業を行った。剣道では、男女が一緒に授業するなかでの面打ちや基本的な動きの習得についての研修を行うことができた。体づくり運動では幼児・小学生向け体育スクール TOGI の岡田先生を講師に招いて、男女で一緒にできる体づくり運動としてリズムトレーニングや発育発達と現代の子供たちについて、呼吸と姿勢の関係性について教えて頂いた。いずれの内容も男女共習での生涯スポーツの視点に立った授業づくりに活かせる内容であり、今後の授業研究へと役立てていきたい。



4. 今年度の成果（○）と課題（▲）

○男女共習授業についての教員の意識調査をすることができた。

○男女共習のメリット・デメリットをまとめることができた。

【メリット】

- ・互いの理解が深まる。
- ・女子のみの部活がある時にポイントを伝えられる。
- ・体力差、技能差を考えて配慮ができるようになる。
- ・運動が得意な女子にとってはより高いレベルで活動することができ、苦手な男子にとっては女子もいることで参加しやすい。

【デメリット】

- ・水泳などの単元によって視線が気になる。
- ・接触を伴う単元で男子が気を遣う。
- ・安全面の配慮が必要。
- ・苦手な女子が参加しにくくなる。
- ・人間関係のトラブルが起こる。
- ・運動量が少なくなり、男子が満足できない。

▲ほぼ全ての学校が男女共習での授業を行っており、そのなかでやりづらさを感じている教員もいた。各学校で支援が必要な生徒も増えている。生涯スポーツの視点から体力差や技能差を踏まえて、みんなが楽しめるような授業づくりへとつなげていく必要がある。